

一般国道 168 号上庄バイパスの部分開通について

1. 概 要

一般国道 168 号は奈良県北西部の地域間交流を支援する南北の重要な幹線道路である。上庄バイパス事業は、生駒郡平群町椿井から生駒市小平尾町間の幅員狭小及び線形不良の解消のため、昭和 48 年度より事業化し、平成 11 年度に上庄工区（L=3, 190m）が開通。今回の開通区間は、秋津工区（L=510m）のうち、現道国道 168 号に接続する 245m 区間である。

2. 開通日時

平成 22 年 8 月 10 日 午前 10 時（予定）～

3. 開通区間

（別紙：位置図・案内チラシ）

区 間：生駒市小平尾町（近鉄東山駅付近）～生駒市小平尾町（秋津橋）

供用延長：245m

幅 員：23m（4車線）

[参 考]

事業概要（全体計画）

上庄バイパス 事業区間：生駒郡平群町椿井～生駒市小平尾町

全体延長：L=4, 165m

計画諸元：第 3 種第 3 級、第 4 種第 1 級

幅 員：23.0m（4車線）

（開通済の上庄工区は 14.0m（2車線））

事業着手：昭和 48 年度

総事業費：約 98 億円

経 緯

- ・昭和 48 年度に事業化。（秋津工区の事業化は平成 10 年度）
- ・平成 11 年 10 月に上庄工区（平群町椿井～生駒市東山町間 L=3, 190m）を 2 車線で供用。
- ・平成 20 年 12 月に策定した「奈良の今後 5 カ年道づくり重点戦略」では、「重点整備宣言箇所」に位置づけ。

事業効果

- ・今回の開通により、近鉄東山駅周辺～現道国道 168 号間が接続し、平群町椿井～秋津橋間のスムーズな通行が可能となる。
また、東山駅周辺の市道の迂回が不要になるとともに、市道への通過交通流入が大幅に減少される。